

三橋節子の まなざし

自然へ、人物へ、物語へ



池畔 (1968年11月)

節子の描いた作品は、対象の本質や生命力を捉えようとした視点や制作過程における観察眼の鋭さが伝わり、人物の内面を見つめようとする姿勢は、人間への深い愛情を感じさせます。彼女がどのように見て、何を感じ、何を表現しようとしたか、その魅力に迫ります。

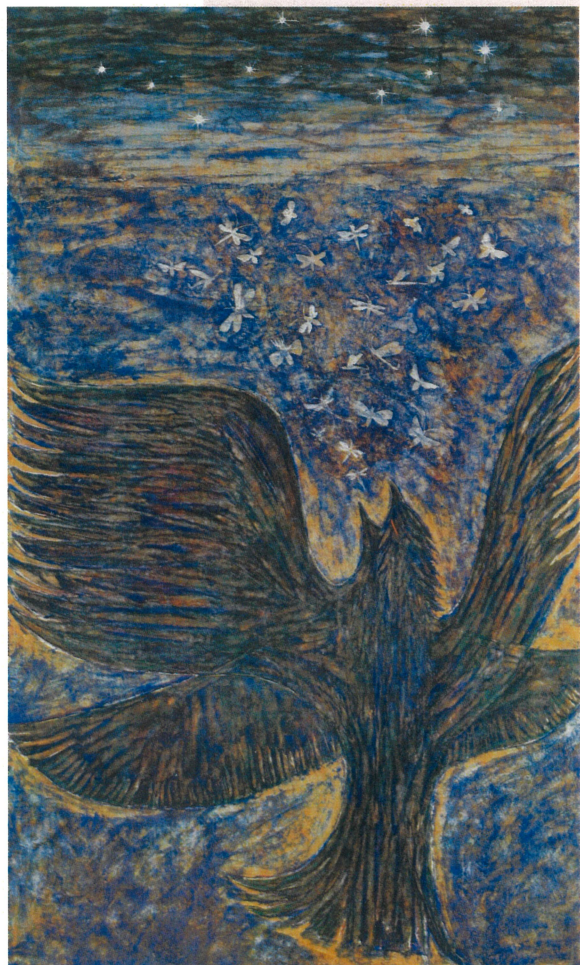
令和7年

8月2日(土)～12月26日(金)



カンボジアの村 (1970年9月)

- 開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 月曜(祝日・振替休日の場合は開館し翌日休館)
祝日の翌日(日曜は開館)
- 観覧料 一般 330円 高大生 240円 小中生 160円
市内在住65才以上 160円 ※団体等の割引料金あり



よだかの星 (1971年4月)

長等創作展示館
NAGARA CRAFTS PAVIRION
三橋節子美術館
MITSUHASHI SETSUKO ART MUSEUM



〒520-0035 大津市小関町1番1号
TEL/FAX 077-523-5101
(京阪電車京津線 上栄町下車 徒歩約10分)